



令和6年12月23日

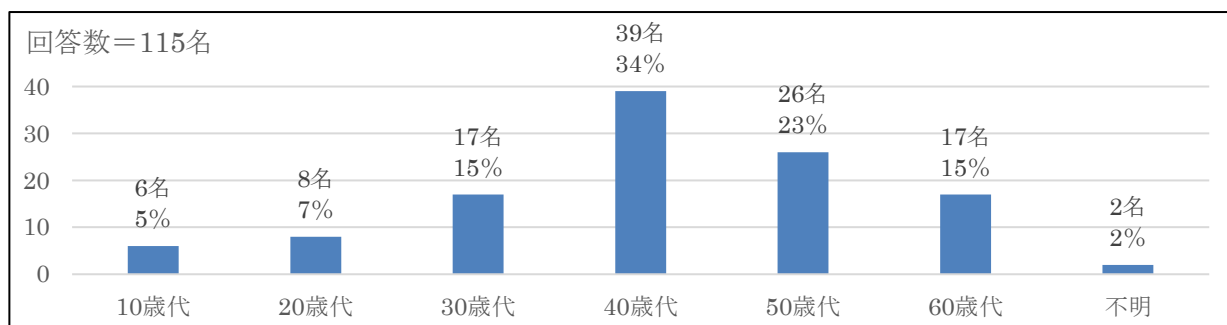
担当課	保健対策課
担当者	谷井、松岡
電話	(073)488-5104
内線	7532

## ひきこもり支援を充実します

— 12月23日（月）から公募開始 —

令和5年3月内閣府公表の「子ども・若者の意識と生活に関する調査」では、ひきこもりの状態にある人は、15歳～39歳は2.05%、40歳～64歳は2.02%となっており、15歳から64歳の生産年齢人口において、全国では約146万人と推計されています。ひきこもり支援では、ひきこもり当事者の高齢化と期間の長期化の課題等があります。加えて、コロナ禍の影響等社会情勢の変化もあり、ひきこもり当事者の多様化が進んでいます。

本市では現在、ひきこもり支援ステーション事業を実施し、ひきこもり当事者とご家族の支援に取り組んでいます。



※ひきこもりの状態にある方は、40歳代が最も多い。 【本市アンケート調査（R3年度）】

※40歳代、50歳代、60歳代の割合で71%と高くなっている。

### 1 和歌山市ひきこもり支援ステーション事業

多様化する状況への対応、課題解決に向け、和歌山市ひきこもり支援ステーション事業の実施事業者の公募を12月23日（月）から開始します。

事業者の知識や経験・ネットワーク・体制等を活かし、質の高い柔軟な支援の検討や支援を展開することで、今後の本市におけるひきこもり支援の充実を図ることができます。

#### 【内容】

- (1) 相談支援（訪問含む）
- (2) 居場所づくり
- (3) 地域のネットワークづくり
- (4) 家族等への支援（家族会等の開催）



#### 【事業者の公募期間】

令和6年12月23日（月）～令和7年1月14日（火）17時



### 2 今後の展望

ひきこもり当事者とご家族が社会から孤立してしまう等の課題解決に向け、訪問支援（アウトリーチ）の充実やネットワーク機能を強化していくとともに、当事者に寄り添い、本人の意思で今後の生き方や社会との関わり方をきめることができる（自律する）ことを目指す支援を展開します。